

## 学生対象・社会福祉/介護福祉研修

研修地:カリフォルニア州、ロサンゼルス近郊



アメリカで福祉研修を行うメリットは？

= 修士号を取得し、高度なカウンセリング知識を持ったソーシャルワーカーが多岐に渡って活躍する現場を体感！

✓ チーム医療の一員として重要な役割を果たすソーシャルワーカー

病院では、それぞれ病棟専属のソーシャルワーカーが常在し、患者・家族の代弁者としてチーム医療会議に参加します。

✓ サポートグループを通してのセルフケア教育が進んでいる

アメリカでは、多くのソーシャルワーカーがサポートグループを運営し、セルフケアの手助けをしています。

生の声を聴き、仕事の喜び・大変さ、充実感をしっかり感じとる事ができます。

### » 研修プログラムのメリット

医療現場と福祉現場(高齢者福祉、障害者福祉)両方の場面で専門家にじっくり話を聞くことができる。ソーシャルワーカーや認定介護士の現場業務を体感できます。

自立を目指す在宅ケア、施設や地域センターでの利用者や家族の支援、最新リサーチに基づいて開発された認知症施設の専門プログラム、そしてホスピスケアまで、最新トピックが盛りだくさん。

ナーシングホームで患者様に対するボランティアや現場スタッフとのディスカッションを通じての交流セッション。英語に自信がなくても、現地日本人スタッフがしっかりサポートするので安心。

視察の前に、米国の福祉制度、医療保険制度などのバックグラウンドを日本語でしっかり予習できるので、現場スタッフの話がよく理解できる。通訳も分かりやすいと評判。

予算とニーズに合わせて、日程や研修内容を自由にアレンジ可能。研修終了後には、アメリカ福祉研修修了書がもらえます。

### ミレニア・エデュケーションのご紹介

長年の米国ヘルスケア業界での医療ネットワークを活かした、現場奥深くまで入り込んだ教育研修を提供。事前のニーズ把握から日米医療システムの比較解説、現場通訳までのトータルコーディネートにより、高度な専門性と高い満足度を保証いたします。

# 学生対象・社会福祉/介護福祉研修

## ✓ サンプル・スケジュール

		午前	午後
1	月	日本発 ロサンゼルス着	ロサンゼルス市内観光後 ホテルチェックイン
2	火	研修オリエンテーション <b>講義①</b> ◆ 米国医療制度概要 ◆ 各医療サービスと患者の流れ（急性期病院、準急性期病院、専門外来、在宅医療等の連携）	<b>現場視察①</b> ◆ <b>大手総合病院(急性期)</b> - ER - ICU - 一般病棟 - ケースマネージャーとの面談 （早期退院に向けたケースマネジメントと退院コーディネーション、地域連携、スムーズな在宅への移行）
3	水	<b>講義②</b> ◆ 米国医療保険制度と近年の医療保険改革 - 公的保険制度 - 民間保険制度 ◆ 米国ホームヘルスカア(在宅医療) - 自立をめざすゴール設定 - 医療と介護の連携、協働	<b>現場視察②</b> ◆ <b>地域福祉サービスセンター</b> - ソーシャルワーカーとの面談 （サービス概要、各種プログラム紹介、ソーシャルワーカーの業務内容、カウンセリング方法） - 在宅介護支援サービスの紹介 - 学生インターンとの交流
4	木	<b>講義③</b> ◆ 訪問介護事業管理者による講義 - 認定介護士になる為の過程 - 職業の展開と業務内容 - 初期アセスメントとケアプランの作成 - 転倒予防の指導方法 - サービス質管理、他社との差別化	<b>現場視察③</b> ◆ <b>認知症専門介護施設</b> - 施設見学 - 施設管理者や現場スタッフとの面談 （施設設計工夫の紹介、アルツハイマー用特別プログラムの特徴、入居者や家族へのサポート、ソーシャルワーカーの役割と多職種連携） - 入居者のアクティビティ見学
5	金	<b>現場視察④</b> ◆ <b>デイヘルスカアセンター</b> - センター内見学 - 利用者のアクティビティ見学 - アクティビティコーディネーターとの面談 - 運営管理者との面談（組織概要、運営の実際、地域との連携、ソーシャルワーカーの役割）	<b>現場視察⑤</b> ◆ <b>障害者用施設</b> - 施設見学 - 入居者のアクティビティ見学 - 施設内見学（施設概要と運営、各職種の役割と仕事内容 ソーシャルワーカー、介護士、看護師の連携 意思決定ができない利用者との対応）
6	土	終日自由行動	
7	日	終日自由行動	
8	月	<b>講義④</b> ◆ 米国ホスピス - ホスピスサービス概要 - ホスピスの歴史 - ホスピスと一般医療の違い - ホスピスのチームアプローチ - リビングウィル	<b>現場視察⑤</b> ◆ <b>ホスピス施設</b> - 施設見学 - ソーシャルワーカーとの面談 （精神ケア、死後のサポートプログラム） - ボランティア管理者との面談 （ホスピスボランティアの重要性、心構え） - ボランティアへのインタビュー
9	火	<b>現場視察⑥・ボランティア</b> ◆ <b>総合シニアコミュニティ</b> - ナーシングホーム(療養型施設) - 認知症ユニット - 介護施設 - ソーシャルワーカーとの面談（業務内容、入居者へ家族へのサポート、他職種連携）	- ボランティア活動・入居者との交流（学校紹介、日本の歌・遊びの紹介、入居者の移動介助など）  ◆ <b>研修のまとめ、質疑応答</b> ◆ <b>アメリカ福祉研修 修了書授与</b>
10	火	ホテル チェックアウト、ロサンゼルス発	
11	水	日本着	



視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成：ミレニア・エデュケーション Copyright © Millennia Education 2018 本紙の無断複写・改造を禁止します。

≫ お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション  
MILLENNIA EDUCATION  
info@iryu-kenshu.com